



オンラインサロンから派生 する価値共創 -個人知の融合を促進する コミュニティとは-

甲南大学マネジメント創造学部
青木慶



報告内容

- 研究の背景と目的
- 調査概要
- 調査結果
- 結論とインプリケーション





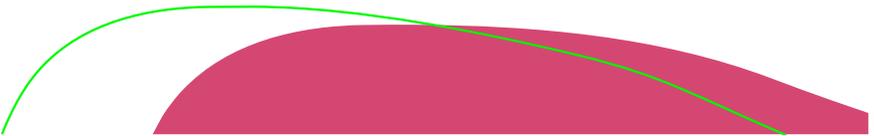
研究背景

- 「個人知*を活用しきれていない」という問題意識

*個人の持ち合わせる知識や経験

e.g. ユーザーイノベーションの普及における市場の失敗

(de Jong, von Hippel, Gault, Kuusisto & Raasch, 2015; von Hippel, DeMonaco & de Jong, 2017)

- スキルシェアはひとつの解決策ではないか
 - スキルシェアへの参画は、経済的価値に加えて**ウェルビーイング（持続的幸福度）**の向上をもたらす（青木, 2023）
- 

知識を「活用」することの意義 (青木, 2023)

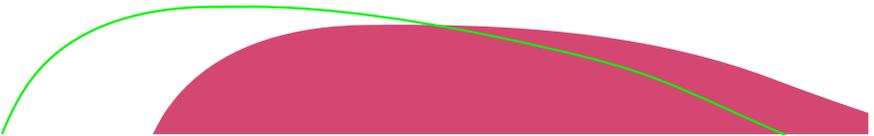




研究目的

個人知の共有から、価値共創*を実現
するプロセスを明らかにする

*個人知の融合によって生まれる「集合知」から、
アウトプットを生み出すこと





リサーチクエストション

オンラインサロン（≡クローズドのコ
ミュニティ）は、共創コミュニティ
として機能しうるのか





調査概要

- インタビュー調査
 - 対象者：オンラインサロンに所属し、能動的に活動している人 (n=11)
 - スノーボールサンプリング
 - 半構造化インタビュー
 - オンラインサロンに参加した経緯
 - 活動内容, そこから得るもの
 - 自身にとってのオンラインサロンの位置付け
 - 今後の意向
- 

分析方法：GTA

インタビューデータ(158,016字)

コンセプト(135)：インタ
ビューデータを切片化

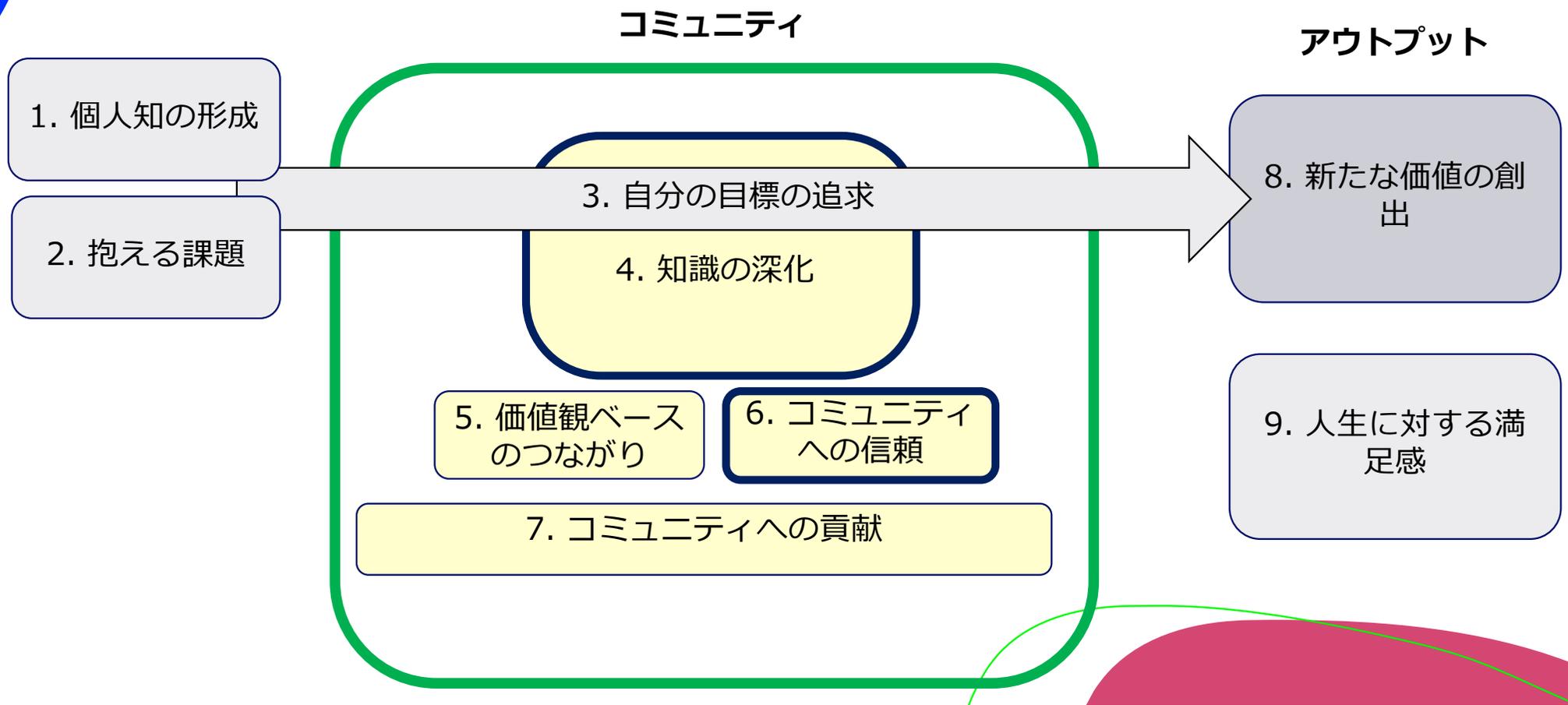
関連性の高いコン
セプトをまとめて
上位概念抽出(33)

抽象化する上
位概念を抽出
(9)

価値共創の実現

Strauss and Corbin
(2014)の手順に基づいて
実施

分析結果：1次カテゴリー



1. 個人知の形成

自己の尊重

外向的

知的好奇心旺盛

金銭的投資を厭わない

蓄積された知識・経験

2. 抱える課題

自己の抑制

満たされていない状態

私的な悩み・課題

仕事上の課題

社会に対する課題意識

3. 自分の目標の追求

個人の志

ゴールの明確化

やりたいことを実現する困難さ

やりたいことの実現

知識の実践

4. 知識の深化

新たな知識・経験

自己変革

不足の補完

他者との交流

メンバーの多様性

8. 新たな価値の創出

コミュニティから派生する経済的価値

9. 人生に対する満足感

楽しさ

幸せ・充足感

5. 価値観ベースのつながり

主宰者への共感

コミュニティの価値観

実利至上ではない

6. コミュニティへの信頼

安心感

コミュニティで得る経済的支援

自律性の確保

濃い人間関係

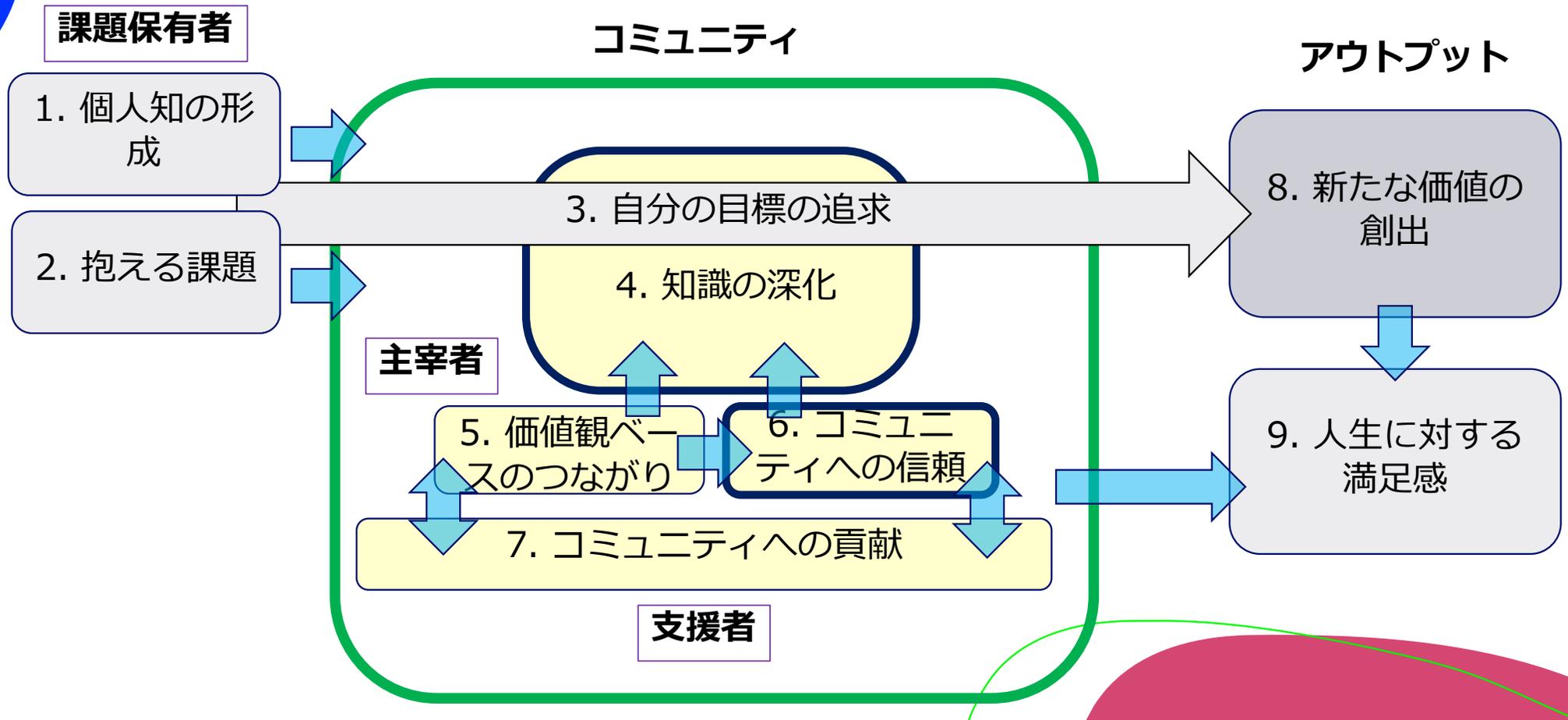
7. コミュニティへの貢献

コミュニティへの没頭

コミュニティでの中心的役割

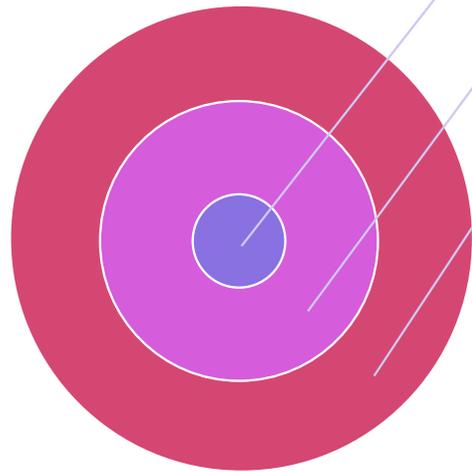
他者貢献

分析結果：カテゴリー間の相関図



結論：オンラインサロンは共創コミュニティとして機能しうる

個人知の融合によって生まれる「集合知」から、アウトプットが生まれていた！



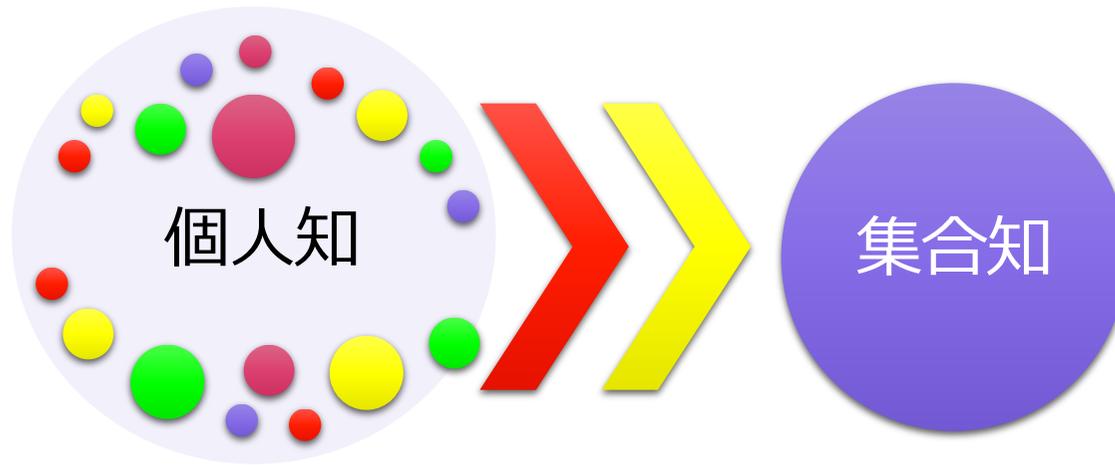
主宰者：コミュニティの核となる価値観を提示

課題保有者：自身の目標を達成するために他のメンバーの知識を融合し、自身の知識を深化

貢献者：自己開示を促す「場づくり」

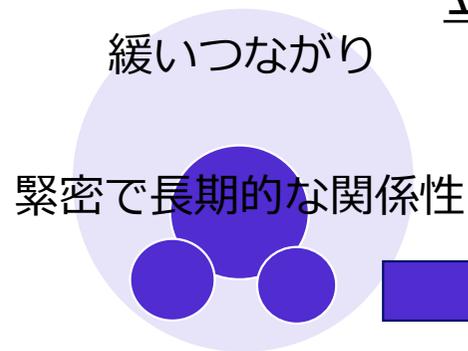


インプリケーション

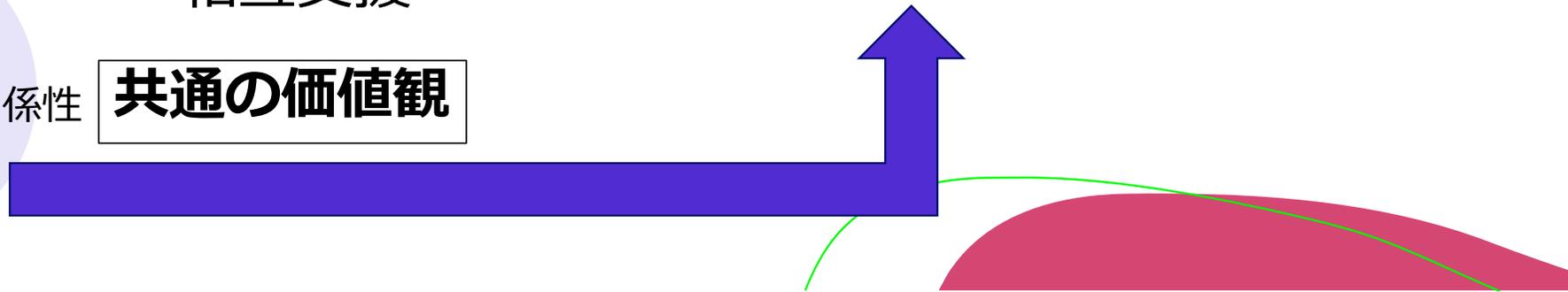


金銭的・非金銭的
相互支援

価値共創



共通の価値観





主な引用文献

青木慶 (2023) . 『スキルシェアのすすめーなぜ知の共有がウェルビーイングを向上させるのか』 千倉書房

De Jong, J., von Hippel, E., Gault, F., Kuusisto, J. & Raasch, C. (2015). Market failure in the diffusion of consumer-developed innovations: Patterns in Finland, *Research Policy*, 44(10), 1856-1865.

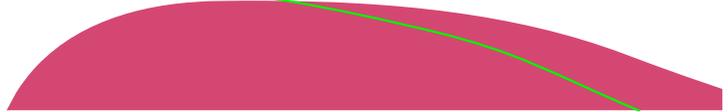
Shah, S. K. (2006). Motivation, governance, and the viability of hybrid forms in open source software development. *Management science*, 52(7), 1000-1014.

Strauss, A. L., & Corbin, J. M. (2014). *Basics of qualitative research: Techniques and procedures for developing grounded theory*. Newbury Park: Sage Publications.

von Hippel, E. (2005). *Democratizing Innovation*, MIT Press: Cambridge, MA. (サイコム・インターナショナル監訳(2006). 『民主化するイノベーション』ファーストプレス)

Yu, X., & De Jong, J.P.J. (2024). An identity perspective on the diffusion of user innovations in the household sector. *Research Policy*, 53(4), 104986.

本研究はJSPS 科研費 22K01759 の助成を受けたものです。





青木 慶
aoki@konan-u.ac.jp